

## 令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立天竜特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	81人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年
使用頻度	毎日
使用状況	<p>小学部の児童が主に使用している。休み時間に友達や教師と一緒に体を動かして遊んでいる。また、学級の活動でも友達や教師との関わりを増やす場として使用している。</p>
物品の使用による変化や効果  ※ 1年目との違いを含めご記入ください。	<p>休み時間では、長期入院中のため、日頃運動する機会の少ない児童が全身を使って遊ぶことができている。楽しみながらいろいろな動きを体験できている。</p> <p>また、集団のルールを知り、ルールを守って活動することに課題のある児童が多くいる。ルールは「小学部のきまり」に明示するようにした。活動の前に児童に伝えるようにしている。児童はルールを意識しながら、楽しんで遊ぶことができている。</p> <p>本校の児童は隣接する天竜病院に入院している。入院直後は人と関わろうとせず、表情が暗いことが多い。しかし、遊具遊びを通して、明るい表情となり、他者との関わりを持つことができるようになってきている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>自立活動や学級活動で教材として扱いたい。本校ではルールを守ることや他者と関係を作ることなどに課題のある児童が多いため、これらの課題を克服する学習をする教材として遊具を使っていきたい。</p>
その他 希望や所感など	<p>一目で興味を引く大型遊具があることで子供たちの意欲やよいあrawれを引き出してもらいました。ありがとうございました。</p>

## 2. 活用の様子



本校で出会い、仲の良くなった友達同士で遊ぶ姿が見られた。

自分たちで遊び方を考え、ルールを決めることができた。以前よりもさらに仲が良くなり、一緒に活動することが増えた。

普段は一緒に活動することの少ない児童同士でも同じ遊具を共有することで友達の名前を読んだり、声を掛けたりする姿が見られた。

